

# いのちの言の葉2009

富山県教育委員会 平成21年度いのちのメッセージ発信事業

## 「いのちの授業」

射水市立大門小学校 6 学年児童  
平成22年3月1日実施

## 【いのちの先生】

太田 友恵先生

・世界移植者スポーツ大会水泳競技金メダリスト

### 【授業の概要】

- 1 学年主任の話（導入と「いのちの先生」の紹介）
- 2 「いのちの先生」の話
  - (1) 自己紹介
  - (2) 生体肝移植を受けた体験にまつわる話
  - (3) 現在の私
- 3 質疑応答

太田友恵先生へ

ぼくは、いのちにかかわる病気ではないけど、ぜんそくで1回入院したことがあります。その時、家族のみんなが支えてくれて病気を乗り切った事があるので、家族のありがたみが先生と同じぐらい分かります。でも、つらいことがあって、嫌になって、死にたいと思ったこともあります。先生の話聞いて、お父さんお母さんからもらったいのちを、もっと大切にしようと思いました。



太田友恵先生へ

ぼくは今日の話聞き、今までの自分を振り返りました。ぼくは宿題をいつもぎりぎりに出していました。でも、太田先生の話聞き、今日できることは今日中にしようと思いました。ぼくは今まで、生きていることは当たり前だと思っていました。でも、学校に行ったり友達と元気に遊んだりすることは、すごく幸せなことだと思いました。これからは一日一日大切に過ごしたいです。

太田友恵先生へ

私は今回の授業で「いのちはただあるんじゃないくて、いろいろな人に支えてもらって今を生きているのだな」と思いました。今、この手紙を書いたり、友達と話したり、ご飯を食べたり、「何かをする」ということは、当たり前ではないのだなと強く思いました。これからの人生には、何かあるのか分からないけれど、二つとないいのちなので、大切に精一杯生きたいと思いました。

家族へ

私は、太田先生にいのちの大切さ、今の一瞬一瞬を生きることの大切さを教えていただきました。これから、いろいろなことにチャレンジし、いのちを大切に生きていきたいです。

お父さん、お母さんへ

お父さん、お母さん、いつもありがとう。今日のお話でいのちの大切さをあらためて思いました。私は、みんなに支えられて生きていることを実感しました。いのちを粗末にしないようにしたいと思います。